

ジャパンプラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

6月度理事会報告

在庫一掃をめざしガレージ・セール開催 新会員への「防災グッズ」無償配布を開始する

6月4日(土)行われた6月度理事会には6名の理事が参加され、下記の点について討議がなされました。

1) ガレージセール

先月行なわれたガレージセールの結果について北理事より報告がありました、なお当日の収支は沖山会計理事より書面にてご報告いただきました。(下記に記載) なお、これらの収益は今後の会の開催する催し物などに会からの補助として役立てることを考えて参ります。

また、今後の予定に付いて、今回手持ちの商品の一掃をしましたので、次の開催迄に大口のご寄付などをいただかない限り十分な品物が準備出来ないと思われ、したがって次の開催は未定とし、品物の集り具合を見て開催を検討することにしました。開催場所に付いてはサンマテオの JACC のガレージセール(11月)に合わせて場所を借りて開催することを検討します。

ガレージセールの会計報告

売り上げ	5月21日(土曜日)	\$ 356.85		
	5月22日(日曜日)	\$ 432.88	計	\$ 789.73
支出	謝礼	\$ 100.00		
	雑費	\$ 174.10	計	\$ 274.10
			収入	\$ 515.63

ガレージセールでの長年の皆様方のご協力にお礼申し上げます



お客様で賑わうガレージセールの会場(上)と日曜日にお手伝いいただいた方々(残念ながら今回土曜日の写真がありませんでした)皆様のご協力ありがとうございました。

2) 秋の B.B.Q. ピクニック

9月4日(日)に開催されますが、詳細は7月と8月の理事会で討議されます。今からカレンダーに予定を入れておいてください。

3) ゴルフ大会 について、今月(6月29日水曜日)にメトロポリタン・ゴルフ場にて開かれます、現在10名が申し込んでいますが(沖山理事からの報告)さらに数名の参加者が増えそうです。最終的に11~12名で開催される予定です。

4) 新会員に無料配布を予定している「防災グッズ」は前回の配布(2013年6月)以降の新会員9名に今月中の配布を予定します。

5) その他、秋の「講習会」「日帰りバス旅行」などを検討する。特にバス旅行はジャパンプラブ単独では十分に参加者数を募ることができないと予想されるので、他のグループにも誘いをかけることを検討する。(会員の方で行き先などご希望があればお知らせ下さい)

6) メモリアルデー にコルマ日系人墓地で毎年開かれる追悼式典は今年66回を迎えました、今年は急遽ジャパンプラブを代表して沖山理事が参列献花をしてくださりました。(沖山理事からの報告) 来年は事前に打ち合わせのうえ代表者を決めて参加するの様にしたいと思います。

なお7月の理事会は独立記念日の週末を避けて、第2土曜日(7月9日)日米会事務所内、ジャパンプラブ事務所で午後1時より開催します、お間違えの無い様ご注意ください。 事務局代行(古田紘一)

ジャパンプラブ・ゴルフ大会

日時: 6月29日(水曜日) 午前10時スタート9時30分までに集合してください
 場所: Metropolitan Golf Links
 10051 Doolittle Dr, Oakland, CA 94603
 方式: ダブルペリア方式
 参加費: \$ 65.00
 締切: 6月20日
 申し込み・チェック宛先: 沖山泰彦
 1564-36th Ave. San Francisco, CA94122
 問い合わせ: 沖山理事 (415)753-6492



JAPAN CLUB
 川柳
 同好会

6月末が締め切りです「芽吹く」です
 今回の兼題は
 どうぞ振って応募してください、お問い合わせ及び応募作の送付先はシュミットさん迄
 郵送: 1533 Fieldcrest Dr. Pleasant Hill, CA 94523
 電話: 925-228-7170
 電子メール: sakura_7170@yahoo.co.jp

締め切り6月30日が迫っております、お急ぎで応募ください

再度「災害に対する心構え」を考える

5月号に引き続き「災害に対する心構え」について考えていきたいと思います。

しかし、「災害に対する心構え」も「対策」もその災害の規模(大小や範囲など)、住んでいる環境(個人住宅、集合住宅、高層の建物、市内あるいは郊外など)更には災害発生時の状況(昼夜の別、夏冬などの季節の違い、在宅中か

勤務先かなど)多くの異なる要素がありそれぞれの状況により対応が異なることとなります。

ご自身の普段の生活リズムに合わせてその中で色々な状況を想定してその対処法と心構えを考えてください。(以下は東京都の「東京防災」報道発表資料を参考に私達にも関係ありそうな部分を抜粋して使わせていただきました)

自宅で備えることの重要性

大規模な地震が起これば、電気・ガス・水道などのライフライン停滞が想定されます。自宅の倒壊などを免れた場合は、被災後も自宅にとどまって当面生活することが想定されます、日頃から自宅で生活する上で必要な物を備えておくことが重要です。そこで**日常備蓄という考え方**があります、災害用備蓄は、乾パンやヘッドライトなど普段使わない物を用意する特別な準備と考えられてきました。そのため管理や継続が難しいとあきらめてしまう人も多かったはずですが、しかし、日頃利用している食料品や生活必需品を少し多めに購入しておく「**日常備蓄**」なら比較的簡単に備蓄ができるのではないのでしょうか。

普段使っている物を買って置き、古い順から使うようにすればいいだけ。特別な物を備える必要はありません。それが日常備蓄という考え方で、難しいことではありません。いつもより少し多めに食品や日用品を買って置き、おきましようということに過ぎないのです。その際、いま冷蔵庫にある食料品も考えて置き置きすれば負担は軽くなります

住まいの備え

地震に依る負傷者の多く(東京防災には負傷者の30~50%にもなると書いてありました)は室内で家具類の転倒・落下・移動が原因と云われています、家具類の転倒、落下や移動防止対策(金具などで固定したり、滑り止めのシートを挟むなど)が必要です、幸い家具の転倒などに依る怪我を免れても倒れた家具が部屋の出入り口近くにあったため大事な避難ルートが塞がれてしまうことも考えられます、もう一度配置も含めてご自分の部屋を見直してみましょう。

屋外の備え

家のまわりの地形や地質、崖地など危険な場所を知ることが災害対策に役立ちます(これらを簡単に見ることの出来るコンピュータやスマートホン向けの無料アプリも出ています)また、避難場所や避難経路、広い公園などのオープンスペース、公民館、学校などの施設を確認しておきましょう。いざというときに早めの対応ができ、安全な場所に避難することができます。

この場合災害の規模によって一時的な避難場所(その後の状況を見る為の)にするのかあるいはもっと大きな災害や火災などの発生に伴ってそこが危なくなったときは更に大きな避難場所も考えておいてください。

コミュニケーションという備え

災害発生時の出火防止や出口の確保など、その順序や手順を考えておきましょう、家族のある方は家族間の連絡方法、一時的な集合場所なども決めておくのもよいでしょう。また外出中に帰宅困難になったり、離ればなれになったりしたときの安否確認の方法や集合場所も決めましょう。ジャパンクラブの会員の方は会員名簿や地域連絡網リストもきっと役立つ事と思います。さらに避難場所や避難経路、電気のブレーカーやガスの元栓の位置、操作方法の確認も忘れずに確認しておきましょう。

今回も5月号に引き続き予知が難しく、大きな被害が心配される地震を中心にまとめてみましたが、地震の規模によってその対応も様々ですし、それぞれの生活環境に依っても対応は異なります、質問やご意見をお待ちしています。

皆さんの地域でもこのような催しがあるかもしれません

6月11日(土)サンマテオ・カウンティフェアの会場で「防災」をテーマに説明やデモンストレーションがありました、10時開場でしたが10分前に行った時には既に300人程の人々(子供を連れた家族が多かった)が集っておりびっくりしました、市の担当者、消防、救急の担当者の挨拶の後開場され、40あまりのブースはそれぞれ防災の重要性を判り易く(特に子供達の為にも)説明していました。さらに別の展示室では「CPR」(心肺蘇生法)の実地練習もしてくれました(私も試してみました)さらに「AED」(自動体外式除細動器)の基本的な使い方の説明や喉に物を詰まらせた人への対処法などのデモンストレーションがありました。

皆さんのお住まいの地域でも同じ様な啓蒙活動があると思います、お近くの市役所や消防署に問い合わせてみてください。きっと役立つ事がありますから。



CPRのデモンストレーションに使われた人形(左)大きな災害時に救急車のバックアップとして機能する車(上)サンフランシスコ、サンマテオ、サンタクララカウンティにそれぞれ一台配備されている(車内には被災者24人に対応出来る機材がびっしり詰まっていた)